

P054

呼吸器症状(呼吸困難、咳など)1

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：川島 正裕(市立岸和田市民病院)

- P054-1 終末期胃がん患者の呼吸困難に対しスコボラミン臭化水素酸塩水和物注射液が有効であった症例 322
山中 幸典(松阪厚生病院 薬剤課)
- P054-2 乳癌による悪性胸水に対しユニタルクを用いた胸膜癒着術を施行した7例 322
大島 一輝(市立豊中病院 外科、市立豊中病院 緩和ケアチーム)
- P054-3 急激な呼吸不全・呼吸困難の増悪で迅速に鎮静を行った2例と、急激な呼吸不全および呼吸困難増悪因子の、呼吸力学と文献による考察 322
仲宗根 ありさ(京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座)
- P054-4 新しいネーザルハイフローシステムAIRVO2の使用経験 322
武藤 純(地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立 広島市民病院 緩和ケア科、地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立 広島市民病院 緩和ケアチーム)
- P054-5 維持透析中のがん患者の高度呼吸困難に対してネーザルハイフローが著効した一例 323
太田 智裕(青森県立中央病院 緩和医療科、青森県立中央病院 内視鏡部)
- P054-6 気管切開カニューレに自作内筒を装着し長期生存が達成できた気管切迫閉塞症例 323
松波 馨士(日野病院組合日野病院 内科)
- P054-7 癌性胸膜炎の悪性胸水に伴う症状緩和に対するタルクによる胸膜癒着術の効果 323
成瀬 博昭(TMG 田園調布中央病院 緩和ケアチーム、呼吸器外科)
- P054-8 がん患者の呼吸苦に対するオキシコドンの使用状況の報告 323
神崎 雅子(聖隷佐倉市民病院)
- P054-9 乳癌術後癌性リンパ管症に対してエリブリン投与によりQOL向上の得られた1症例 324
平田 宗嗣(鹿児島大学 乳腺甲状腺外科)
- P054-10 転移性肺腫瘍に伴う難治性咳嗽に対してモルヒネ製剤のiv-PCAが奏功した一症例 324
竹田 亜貴(KKR高松病院)

P055

呼吸器症状(呼吸困難、咳など)2、消化器症状(悪心・嘔吐、腹水など)1

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：十九浦 宏明(名古屋大学医学部附属病院 化学療法部)

- P055-1 喘鳴に対するbutyl scopolamine皮下投与症例の検討
の単回皮下投与法と持続皮下投与法の比較 324
赤司 雅子(JCHO 東京新宿メディカルセンター)
- P055-2 緩和医療科入院時に、呼吸困難の無い、原発性肺癌症例に関する検討 324
松石 純(昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科)
- P055-3 緩和ケアチームが介入した症例の呼吸困難：チーム立ち上げからこれまでの推移 325
若山 尚士(名古屋第二赤十字病院 緩和ケアチーム)
- P055-4 腹水濾過濃縮再静注法(CART)により患者・家族の満足が得られた
難治性腹水を有する脾臓がん患者の一例 325
吉田 奈美江(社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院 看護部)
- P055-5 上腸間膜症候群が原因であった難治性悪心嘔吐の1例 325
栗山 俊之(和歌山県立医科大学附属病院腫瘍センター、和歌山県立医科大学麻酔科学教室)

P055-6	癌性腹水に対する腹腔-静脈シャントの安全性および有用性について	325
	澤崎 翔 (上白根病院 外科)	
P055-7	脾臓十二指腸切除術(門脈合併切除)後の乳び腹水による腹満感に 酢酸オクトレオチドを投与した1例	326
	鄭 陽 (がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケアチーム)	
P055-8	脊髄麻痺に伴う麻痺性イレウスの苦痛症状に対しエリスロマイシンが有用であった3例	326
	今井 堅吾 (聖隷三方原病院 ホスピスコ)	
P055-9	下痢と口内炎だけではない、半夏瀉心湯の処方イメージをつかむ	326
	奥津 輝男 (鶴巻温泉病院 緩和ケア病棟)	
P055-10	ゾレドロン酸抵抗性的高カルシウム血症による難治性悪心に対し デノスマブが奏功した1例	326
	萩原 信悟 (筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)	

P056

消化器症状(悪心・嘔吐、腹水など)2

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長: 坂本 雅樹 (名古屋徳洲会総合病院 外科・緩和ケア外科)

P056-1	難治性腹水に五苓散が奏功した進行脾癌合併非対償性肝硬変の一例	327
	光本 保英 (JCHO京都鞍馬口医療センター 緩和ケアチーム)	
P056-2	緩和的手術を行った3症例	327
	友利 寛文 (那覇市立病院)	
P056-3	「あいーと」などの経口摂取が可能であったがん終末期イレウスの2例	327
	市場 尚子 (社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台記念病院 栄養科)	
P056-4	終末期の症状コントロールにオクトレオチドが有効であったグルカゴノーマの一例	327
	萩原 綾希子 (JA北海道厚生連 旭川厚生病院 緩和ケア科)	
P056-5	難治性の悪心・嘔吐に対してグラニセトロンを使用した7例の検討	328
	東端 孝博 (筑波メディカルセンター病院)	
P056-6	進行再発癌患者の消化管閉塞に対する酢酸オクトレオチドの有用性	328
	上野 聡一郎 (上尾中央総合病院 腫瘍内科)	
P056-7	再発がんの緩和ケアにおけるPTEG(経皮経食道胃管挿入術)の有用性	328
	畠山 元 (盛岡赤十字病院 緩和ケア科)	
P056-8	腹水濾過濃縮再静注法(CART)の適応の検討-CARTができなかった症例の分析-	328
	川原 玲子 (日本生命済生会付属日生病院 麻酔・緩和医療科、 日本生命済生会付属日生病院 緩和ケアチーム)	
P056-9	難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注療法(CART)による緩和治療: 改良型腹水濾過濃縮再静注システム(KM-CART)を用いて	329
	鹿島 康薫 (とちぎメディカルセンター とちの木病院 外科、 とちぎメディカルセンター とちの木病院 チームCART、 とちぎメディカルセンター とちの木病院 緩和ケアチーム)	
P056-10	切除不能進行胃癌の原発巣に対して放射線治療の積極的関与は有用か?	329
	清水 わか子 (三井記念病院 放射線治療科)	

※P056-9の発表は、6/19(金)17:30-18:30にP013-10のポスターパネルで行います。

P057
消化器症状(悪心・嘔吐、腹水など)3

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：山田 岳史（日本医科大学 消化器外科）

- P057-1 緩和ケア領域での難治性嘔吐におけるオランザピンの検討 329
杉下 美保子（名古屋大学 医学部附属病院 緩和ケアチーム）
- P057-2 終末期がん患者の腹部膨満感による苦痛緩和に使用されたオピオイドの効果と
ケアの傾向 329
納谷 さくら（医療法人 東札幌病院 看護部）
- P057-3 当科で施行した従来型CARTとKM-CARTの比較 330
高橋 稔之（医療法人誠和会 和田病院 緩和ケア内科）
- P057-4 終末期患者における大建中湯坐剤の使用経験 330
竹重 俊幸（福島県立医科大学会津医療センター附属病院 緩和ケア科）
- P057-5 切除不能膵がん・胆道がん患者における胆汁ドレナージの意義 330
小栗 啓義（高知厚生病院 緩和ケア科）
- P057-6 オクトレオチド有効例の絶食、併用薬との関係についての検討 330
森 一郎（医療法人ガラシア会 ガラシア病院 ホスピス）
- P057-7 癌性腹膜炎による消化管閉塞に対するオクトレオチドの臨床効果の検討 331
渡部 秀樹（三重県立総合医療センター）
- P057-8 オピオイド使用患者における酸化マグネシウムの有効量と
NSAIDsの影響についての検討 331
吉田 慎太郎（青森県立中央病院 薬剤部）
- P057-9 大腸壁外からの浸潤による大腸悪性狭窄に対して大腸ステントを挿入した6例の検討 331
小杉 和博（聖路加国際病院 消化器内科）
- P057-10 FOLFILINOX療法による難治性悪心、嘔吐に対してオランザピンが有効であった
2例の検討 331
小松田 智也（秋田赤十字病院 緩和ケア内科）

P058
食欲不振・輸液・栄養・悪液質症候群1

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：三浦 智史（国立がん研究センター東病院）

- P058-1 超高齢者において上行結腸癌に対する姑息的回盲部切除術がQOL改善に有効であった
1例 332
町井 春花（名古屋第一赤十字病院）
- P058-2 糖質制限食によりPrognosis Indexが改善した再発肝門部胆管癌の1例
～分子標的治療としての糖質制限の可能性～ 332
高坂 佳宏（IMSグループ 横浜旭中央総合病院 外科）
- P058-3 在宅において実施した終末期がん患者に対する輸液療法についての検討 332
岡田 豊（つばさクリニック）
- P058-4 緩和ケア病棟で専門的栄養療法と理学療法を行った一例 332
高城 いぶき（大阪市立総合医療センター 緩和医療科）
- P058-5 悪性難治性腹水に対し、KM-CART療法を行った二例 333
高田 賢（秦野赤十字病院 外科）

P058-6	食品一覧表を導入してみても 333
	矢野 礼子（医療法人 治久会 もみのき病院）
P058-7	緩和ケア対象患者の食事～個別対応が必要な患者の傾向とは？～ 333
	菅野 真美（近畿大学医学部附属病院 栄養部）
P058-8	サプライズメニュー提供の試み～管理栄養士によるベッドサイド面談を実施して～ 333
	渡辺 和歌子（秦野赤十字病院 緩和ケアチーム）
P058-9	化学療法中の食欲低下に応じた食事の工夫 ～栄養課の取り組み「ひだまり食」の作成～ 334
	濱元 愛美（川内市医師会立市民病院 栄養管理部）
P058-10	新スーパ食確立に向けて 334
	山形 周介（国立病院機構 刀根山病院 栄養管理室）

P059

食欲不振・輸液・栄養・悪液質症候群2

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：小西 徹夫（時計台記念病院 緩和ケアセンター）

P059-1	がん終末期における不可逆性悪液質と飢餓に関する検討 334
	中島 信久（東北大学 大学院 医学系研究科 医科学専攻 外科病態学講座 緩和医療学分野）
P059-2	緩和ケア病棟で行った皮下輸液施行症例の検討 334
	田中 千恵（鹿児島市医師会病院 緩和ケア科）
P059-3	当院の緩和ケアにおけるステロイド使用状況についての検討 335
	西尾 美帆（いちえ会 洲本伊月病院 緩和ケア外科）
P059-4	「食べる」ことを支える化学療法対応食の検討 335
	西川 陽子（地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院 栄養室）
P059-5	当院一般病床と緩和ケア病床における輸液実施率の差に関する考察 335
	小田 浩之（市立札幌病院緩和ケア内科）
P059-6	当院緩和ケア病棟における栄養実態調査 335
	澤辺 由美（埼玉協同病院 薬剤科）
P059-7	消化管閉塞を伴う終末期がん患者に対する輸液療法の現状 ー輸液負荷軽減時期についての考察ー 336
	大原 寛之（藤田保健衛生大学 外科・緩和医療学）
P059-8	当院におけるケモ食の実態 336
	谷口 梨奈（社会医療法人近森会 近森病院 栄養サポートセンター）
P059-9	終末期がん患者の経口摂取が臨床症状に及ぼす影響 336
	森 直治（藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座）
P059-10	第三次救命救急病院としてのPCT介入患者の栄養管理は如何にあるべきか ～ Quality of Deathを支える管理栄養士の役割についての一考察～ 336
	清水 純子（済生会福岡総合病院 栄養部）

P060

倦怠感、泌尿器症状

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：村上 敏史（聖隷佐倉市民病院 緩和医療科）

P060-1	相対的副腎不全による全身倦怠感にステロイドが著効した一例 337
	石黒 崇（岐阜市民病院 緩和ケアセンター、岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科）

P060-2	倦怠感の緩和目的に使用したステロイドにより顕性化した中枢性尿崩症の一例	337
	戸田 陽子 (横浜労災病院 緩和ケアチーム、横浜労災病院 腫瘍内科・緩和支援療法科)	
P060-3	ステロイド抵抗性の全身倦怠感に対し人参養栄湯を併用した4症例の検討	337
	三田 礼子 (JCHO神戸中央病院 内科 (緩和ケア))	
P060-4	がん患者の症状緩和に対するハッカ油使用の有効性の検討	337
	館山 すみれ (青森県立中央病院 7階西病棟、青森県立中央病院 緩和ケアチーム)	
P060-5	がん患者の全身倦怠感に対する十全大補湯とエルカルチンの検討	338
	鈴木 晶子 (独立行政法人 国立病院機構函館病院 緩和ケア科)	
P060-6	終末期癌患者の倦怠感・食欲不振に対するコルチコステロイドの有効性の予測因子： 多施設観察的研究 (J-FIND3)	338
	松尾 直樹 (外旭川病院 ホスピス、J-FIND Study Group)	
P060-7	終末期癌患者のコルチコステロイド開始後のせん妄発症の予測因子： 多施設観察的研究 (J-FIND3)	338
	松尾 直樹 (外旭川病院 ホスピス、J-FIND Study Group)	
P060-8	がん化学療法における血漿中および尿中カルニチン動態と倦怠感の関連	338
	菓子井 達彦 (富山大学 附属病院 臨床腫瘍部)	
P060-9	認知機能の低下したがん患者の全身倦怠感に対する看護師の判断と行動 ～一般病棟勤務の看護師へのインタビューから～	339
	廣瀬 幸恵 (福井県済生会病院)	
P060-10	尿路変更術後に1%ミョウバン水 (硫酸アルミニウムカリウム) の 間欠的膀胱内注入を行い短期間に膀胱出血が改善した転移性膀胱腫瘍の一例	339
	神谷 浩平 (山形県立中央病院 緩和医療科 緩和ケアチーム)	
P060-11	終末期がん患者における尿道カテーテル留置の当施設における現状調査、 及びその理由についての検討	339
	豊田 紀夫 (JCHO 東京新宿メディカルセンター)	

P061

リンパ浮腫・浮腫・皮膚症状1

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：柏木 秀行 (飯塚病院)

P061-1	直腸癌術後に合併した下肢深部静脈血栓症に対して補完的漢方薬治療が有効であった 1例	339
	村松 雅人 (愛知県厚生連豊田厚生病院 緩和ケア内科)	
P061-2	がんの進行により両下肢リンパ浮腫からリンパ漏を形成した患者に対する皮膚ケアの報告	340
	北山 奈央子 (姫路医療センター)	
P061-3	頭頸部癌皮膚浸潤の自壊に、アルギン酸塩被覆材と5千倍ボスミン液を用いた パッキングが有用であった3例	340
	岡本 宗一郎 (あそかビハーラ病院)	
P061-4	悪性腫瘍患者の終末期における下肢浮腫の苦痛緩和への取り組み	340
	小川 知恵 (長岡中央総合病院)	
P061-5	緩和医療における下肢リンパ浮腫へのアプローチについての検討	340
	馬場 祐康 (洛和会 音羽病院 緩和ケア内科)	
P061-6	終末期下肢浮腫に対する簡易圧迫療法により、呼吸不全を呈した1例	341
	安藤 秀明 (秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター)	

P061-7	婦人科疾患におけるターミナルケアの取り組み ー身体的苦痛の緩和に対する実践と効果ー	341
	佐藤 静佳（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）	
P061-8	乳がん自壊創に対する継続的なセルフケア支援によりQOLを維持した一例	341
	原 陽子（独立行政法人 国立病院機構 姫路医療センター 看護部）	
P061-9	腸管穿孔に伴う広範囲かつ形状複雑な腹壁離開に対し保存的療法にて治癒に至った一症例	341
	中川 ひとみ（医療法人社団有隣会 東大阪病院 緩和ケア病棟）	
P061-10	乳がん患者を対象としたリンパ浮腫外来活動報告	342
	春岡 典子（兵庫県立加古川医療センター）	

P062

リンパ浮腫・浮腫・皮膚症状2

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：藤原 由佳（神戸大学医学部附属病院）

P062-1	中山間地域のがん診療連携拠点病院におけるリンパ浮腫外来のあり方 ー過去5年間の患者動向分析による今後の展望ー	342
	湯川 弘美（市立三次中央病院 リンパ浮腫療法士）	
P062-2	乳がん手術後における上肢挙上困難がある患者へのケア体制	342
	林 真奈美（名古屋第二赤十字病院看護部）	
P062-3	緩和ケアにおいて輸液の実施がもたらす浮腫リスクの指標探索	342
	齋藤 俊子（洛和会音羽病院 薬剤部）	
P062-4	緩和ケア病棟における下肢リンパ浮腫ケア介入による転倒予防の有用性	343
	太鼓 菜穂美（地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター）	
P062-5	リンパ浮腫外来の現状と課題	343
	比嘉 敬子（地方独立行政法人那覇市立病院）	
P062-6	リンパ浮腫外来患者の満足度とその影響を与える背景について	343
	木村 利子（社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院 リンパ浮腫外来）	
P062-7	下肢創傷疾患患者の浮腫アプローチについての検討	343
	中島 静枝（洛和会 音羽病院 がん相談センター）	
P062-8	モーズベーストの利便性改善に向けた臨床薬学的研究 ー基剤変更が粘性や組織固定度、被洗浄性等に及ぼす影響ー	344
	佐藤 淳也（岩手医科大学附属病院 薬剤部、岩手医科大学 薬学部 臨床薬剤学講座）	
P062-9	RASHマネジメントにおけるチーム医療の必要性	344
	大越 香理（半田市立半田病院 7A病棟）	
P062-10	複合的理学療法の長期的支援が必要となる女性リンパ浮腫患者に対する セルフケア支援の検討	344
	宇野 要子（東京慈恵会医科大学附属 第三病院）	

P063

口腔の問題

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：上野 尚雄（国立がん研究センター 中央病院）

P063-1	口腔底癌に伴う口臭に対しクリンダマイシン含嗽液が著効しQOL向上に繋がった1例	344
	岡山 浩子（熊本労災病院 看護部、熊本労災病院 緩和ケアチーム）	
P063-2	院内歯科がない病院と地区歯科医師会の周術期口腔機能管理	345
	伊奈 研次（名古屋記念病院 化学療法内科）	

P063-3	在宅がん患者の口腔ケア推進のための地域医科歯科看護連携の取り組み	345
	伊藤 瑠美（青森県立中央病院 緩和ケアチーム）	
P063-4	小児がん治療による口腔粘膜炎に関する検討	345
	長岡 広香（筑波大学附属病院 緩和ケアセンター）	
P063-5	化学放射線同時併用療法及び放射線単独療法をうける頭頸部がん患者に対し 半夏瀉心湯を用いた口腔ケアの効果	345
	西尾 敦美（大阪大学 医学部附属病院 看護部）	
P063-6	緩和ケア病棟看護師へのアンケート調査からみる口腔ケアのとらえ	346
	向山 仁（横浜市立みなと赤十字病院 歯科口腔外科）	
P063-7	がん終末期患者に対する口腔ケアの標準化を目指して ー第一報 口腔ケアの実態と口腔ケアに関する看護師の認識ー	346
	白井 由紀（あそかビハラー病院 看護部）	

P064

高カルシウム血症、脊髄圧迫・脳転移・痙攣、感染症

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：鈴木 正寛（NTT東日本関東病院 緩和ケア科）

P064-1	高Ca血症に対するzoledronate投与で、遅延性の重篤な低Ca血症を起こした 子宮頸部腺癌の1例	346
	平木 祥子（金沢医科大学病院 薬剤部）	
P064-2	脳神経症状を呈する前立腺癌患者に関する考察	346
	土井 千春（済生会横浜市南部病院 緩和医療科）	
P064-3	髄膜癌腫症による頭蓋内圧亢進症状に対してOmmayaリザーバー留置後 V-Pシャント術を施行した一例	347
	三枝 美香（静岡県立総合病院 呼吸器内科）	
P064-4	見過ごしていませんか、晚期障害。放射線脊髄症の2症例	347
	仙石 早苗（社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院 緩和ケア科）	
P064-5	腰椎穿刺による髄液検査の意義および有用性 ー固形癌進行期における癌性髄膜炎についてー	347
	鈴木 強（医療法人 行岡医学研究会 行岡病院 脳神経外科）	
P064-6	乳癌の髄膜播種患者5症例について緩和ケアに関する考察	347
	山本 芳樹（第二岡本総合病院 外科）	
P064-7	当院で脊椎転移手術を実施した症例でのゾレドロン酸水和物 またはデノスマブの使用状況	348
	柳泉 亮太（横浜市立大学附属病院 麻酔科）	
P064-8	脊髄鎮痛法施行中にリステリア髄膜炎を合併した左腸骨軟骨肉腫の1例	348
	星野 奈月（がん研究会有明病院 緩和治療科）	
P064-9	セフェビム脳症による意識障害で非痙攣性てんかん発作を来していた1例	348
	松田 洋祐（聖路加国際病院 緩和ケア科）	
P064-10	進行がん患者の感染症に対する抗菌薬治療効果の予測因子を探索する後ろ向き観察研究	348
	小田切 拓也（聖隷三方原病院 ホスピス科）	



P065
貧血・出血・血栓症・血液学的問題

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：西本 哲郎（市立芦屋病院 血液・腫瘍内科）


- P065-1 大学病院で輸血の中止を決定し、緩和ケア目的で転院後に輸血とリハビリにより在宅療養となった終末期胃癌患者の一例** 349
櫻井 則男（東京臨海病院 緩和ケアチーム）
- P065-2 緩和ケア病棟で経験した急性肺血栓塞栓症の2例** 349
福重 哲志（久留米大学病院緩和ケアセンター）
- P065-3 乳房血管肉腫からの致命的大出血にMohs軟膏が有効であった1例** 349
千葉 創（東京大学 医科学研究所附属病院 緩和医療科）
- P065-4 Mohsペーストの代わりに隆起性皮膚悪性腫瘍表面の出血・滲出液制御に有効だった短期の緩和的放射線治療** 349
和田 仁（宮城県立がんセンター 放射線治療科）
- P065-5 進行癌に合併したDICに対するトロンボモジュリンの有用性について** 350
大谷 聡（岐阜厚生連 東濃厚生病院）
- P065-6 終末期がん患者の放射線性出血性胃炎に対してオクトレオチドが有効であったと考えられた1例** 350
前田 隆司（がん・感染症センター 都立駒込病院 緩和ケア科）
- P065-7 担癌患者における血栓症の治療方針～ヘパリン・ワーファリンと新規抗凝固薬の使い分け～** 350
高橋 義和（大崎市民病院 本院診療部 腫瘍内科）
- P065-8 造血器悪性腫瘍終末期におけるPalliative Prognostic Indexの有用性の検討** 350
大野 栄治（大分市医師会立アルメイダ病院 緩和ケア内科）
- P065-9 緩和ケア病棟における赤血球輸血の現状** 351
小屋 紘子（国立病院機構 西群馬病院 緩和ケア科）
- P065-10 当院における担がん患者の脳梗塞～発症後の経過と予後～** 351
野萱 純子（社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院 緩和ケアチーム）

P066
オンコロジーエマージェンシー、予後予測1

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：河原 正典（爽秋会 岡部医院）

- P066-1 切除不能食道癌患者の消化管出血に対し、IVRでの止血術が奏効した一例** 351
花園 幸一（慈愛会今村病院 緩和ケア科、慈愛会今村病院 外科）
- P066-2 EGFR遺伝子変異陽性の肺腺癌にSIADHを合併した1例** 351
寺崎 敏治（公立南砺中央病院 内科）
- P066-3 Trousseau症候群の3症例～癌以外の急変を考える～** 352
竹内 真実子（安城更生病院 消化器内科）
- P066-4 救急外来を受診して入院した進行癌患者250例の検討** 352
辻村 恭江（伊勢赤十字病院 緩和ケア内科）
- P066-5 緩和ケア病棟入院患者の栄養評価と予後予測** 352
高杉 知明（医療法人 慈生会 野村病院）
- P066-6 在宅医療における癌性リンパ管症を伴う肺癌患者の15日予後予測モデル** 352
今野 里美（松口循環器科・内科医院）

P066-7	三木のGPSに基づく頭頸部癌患者における悪液質と終末期管理	353
	松塚 崇 (福島県立医科大学 耳鼻咽喉科)	
P066-8	大腸癌化学療法終了時のmGPSが治療中止の判断基準となる	353
	園田 寛道 (滋賀医科大学 消化器・乳腺一般外科)	
P066-9	一般病院におけるPalliative Prognostic Index(PPI)を用いた予後予測の問題点	353
	新宮 久子 (済生会 山形済生病院 看護部)	
P066-10	進行がん患者における生命予後の予測指標についての多施設前向きコホート研究： PaP score, D-PaP score, PPI, modified PIPS model の比較 -J ProVal Study	353
	馬場 美華 (彩都友誼会病院 緩和ケア・ペインクリニック科)	

P067

予後予測2、苦痛緩和のための鎮静1

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：村上 真基 (救世軍清瀬病院)

P067-1	体温低下が終末期癌患者の予後に及ぼす影響	354
	佐々木 佐枝子 (昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科)	
P067-2	婦人科悪性腫瘍終末期におけるPalliative Prognostic Indexを用いた 予後予測の検討	354
	森 尚子 (KKR札幌医療センター 緩和ケア科)	
P067-3	進行癌患者における生物学的予後スコア第3版の開発と予測精度の前向き検証 — Palliative Prognostic Indexとの比較 —	354
	大道 雅英 (愛知病院)	
P067-4	がん治療医による「終末期に向けた方針転換」の時期の妥当性に関する研究	354
	金井 良晃 (東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部)	
P067-5	Palliative Prognostic Score改良版での予後予測の有効性について	355
	内田 新 (長崎みなとメディカルセンター市市民病院 看護部、 長崎みなとメディカルセンター市市民病院 緩和ケアチーム)	
P067-6	患者が鎮静を希望するも家族の意向で鎮静導入が遅延した3例	355
	今野 俊和 (社会医療法人 栄光会 栄光病院ホスピス、医療法人 完光会 今野病院)	
P067-7	担癌患者における苦痛緩和目的の持続鎮静 ～ミダゾラムとデクスメトメジンを併用した一例～	355
	市川 園子 (大崎市民病院 腫瘍内科)	
P067-8	緩和医療におけるドロペリドールの有効性 ～そのMineralization作用を利用して有効な症状緩和を得た3症例～	355
	田中 萌生 (京都府立医科大学 付属病院)	
P067-9	当院緩和ケア病棟における持続的な深い鎮静の現状と課題	356
	橋本 勝利 (藤田保健衛生大学 七葉サナトリウム 看護部)	
P067-10	鎮静処置が生命予後におよぼす影響に関する考察	356
	筒井 哲也 (岡山中央奉還町病院 緩和ケア科)	
P067-11	肺癌終末期に対する持続的鎮静の現状 一般病棟と緩和ケア病棟との比較	356
	志津 匡人 (地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 呼吸器内科)	
P067-12	当院終末期患者における鎮静のあり方についての検討	356
	萩原 彰人 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)	


P068

苦痛緩和のための鎮静2、看取りの前後のケア1

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：堺 千代（大分ゆふみ病院）

- P068-1 鎮静における家族ケア～当院緩和ケア病棟の現状と課題～ 357
岡田 恵（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座）
- P068-2 当院における終末期がん患者の苦痛緩和のための鎮静
～予期悲嘆を意識した鎮静前後の家族ケアの考察～ 357
加藤 理香（箕面市立病院 がん診療推進部 緩和ケアチーム）
- P068-3 当院緩和ケア病棟における持続的鎮静の現状と問題点 357
原田 秋穂（京都府立医科大学付属病院 疼痛・緩和医療学講座）
- P068-4 苦痛緩和のための鎮静施行時におけるカンファレンスの現状と今後の課題 357
住田 俊彦（公立学校共済組合 東海中央病院）
- P068-5 終末期の鎮静導入における患者の同意取得状況と同意非取得に関連する因子について 358
足立 康則（名古屋大学医学部附属病院 化学療法部、名古屋大学医学部附属病院 精神科）
- P068-6 フェンタニルとミダゾラム併用による気管支鏡検査の苦痛度評価 358
南 大輔（岡山大学病院 緩和支援医療科）
- P068-7  苦痛緩和のための鎮静に関する家族への説明・ケアについての検討 358
池永 昌之（淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 ホスピス科）
- P068-8 子宮頸癌腔内照射時の鎮静について 358
岡部 智行（広島大学病院 放射線治療科）
- P068-9 当院緩和ケア病棟におけるミダゾラムによる鎮静の現状と課題 359
荻野 由里恵（公立学校共済組合 東海中央病院 薬剤部）
- P068-10 余命宣告を受けた患者への「死への準備教育」を行って。 359
江島 栄子（医療法人社団 江頭会 さくら病院 緩和ケア病棟）
- P068-11 十二指腸乳頭癌の周術期にある夫が乳癌の妻を同室で看取とった一事例 359
廣田 紘子（独立行政法人国立病院機構 大分医療センター）
- P068-12 故人への丁寧なケアとエンゼルメイクが看護師に与える意味 359
松崎 正子（埼玉医科大学総合医療センター 緩和ケアチーム）

P069

看取りの前後のケア2、薬物相互作用、血液検査・画像検査

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：鈴木 梢（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

- P069-1 看取りのクリティカルパスであるリパブルケアパスウェイを導入した
2年間の緩和医療について 360
相田 賢司（日本大学 医学部 産婦人科）
- P069-2 緩和ケア病棟でLiverpool Care Pathwayを使用してみても 360
牟田 都茂子（医療法人社団シマダ 嶋田病院 緩和ケア病棟）
- P069-3 がん終末期患者の看取りに関する医療者の意識調査 360
羽鳥 裕美子（国立病院機構 高崎総合医療センター 看護部 緩和ケアチーム）
- P069-4 一般病棟におけるLiverpoolCarePathway（日本語版）導入による看護師のケアと
困難感の変化 360
杉田 智子（淀川キリスト教病院）



P069-5	ワルファリン服用患者のPT-INRの変動により疼痛コントロールに苦勞した症例	361
	安部 一秀 (太田西ノ内病院 薬剤部)	
P069-6	アセトミノフェンとワルファリンの相互作用の事例検討	361
	高田 慎也 (北海道がんセンター 薬剤科、北海道がんセンター 緩和ケアチーム)	
P069-7	終末期がん患者における中心静脈カテーテル閉塞例の検討	361
	二村 昭彦 (藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム 薬剤課、 藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座)	
P069-8	疼痛のスクリーニングにおける全身拡散強調画像を含む全脊椎MRIの初期経験	361
	境野 晋二郎 (すすかけセントラル病院 放射線治療センター)	
P069-9	進行癌症例の血中甲状腺ホルモン値に関する検討	362
	西里 卓次 (札幌清田病院 緩和ケア内科)	
P069-10	がん終末期患者におけるNT-proBNPに関する検討	362
	児玉 佳之 (社会医療法人社団カレスサポロ 時計台記念病院 緩和ケアセンター)	
P069-11	新たな腎機能マーカーである血清シスタチンCを用いた終末期癌患者の腎機能評価に関する 検討	362
	菊岡 修一 (昭和大学 横浜市北部病院 緩和医療科)	

※P069-6の発表は、6/19(金)17:30-18:30にP010-12のポスターパネルで行います。

P070

がん治療における支持療法

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：八代 英子 (千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科)

P070-1	悪性リンパ腫に合併した乳糜胸腹水に対して診断治療までの期間に 胸腹水濾過濃縮再静注療法が症状緩和に有用であった1例	362
	森下 実 (国家公務員共済組合連合会北陸病院 外科)	
P070-2	早期の内臓神経ブロックがオピオイド抵抗性癌性疼痛の症状緩和と化学療法の継続に 有用であった脾癌の1例	363
	原田 大司 (市立福知山市民病院 腫瘍内科、市立福知山市民病院 緩和ケアチーム)	
P070-3	BSCの方針から緩和ケア病棟入院後、再度治療可能となった2症例についての検討	363
	松尾 幹彦 (相良病院 緩和ケア科)	
P070-4	癌性髄膜炎に対しオンマヤリザパー管理が有効であった1例	363
	森 盟 (名古屋第一赤十字病院)	
P070-5	希望を叶えるための症状マネジメントーMoh's Pastを用いてー	363
	鳥井 千嘉 (社会医療法人平和会吉田病院)	
P070-6	肝細胞がんに対するソラフェニブ導入とがんサポート外来の取り組み	364
	小平 明美 (大阪医科大学 附属病院 薬剤部)	
P070-7	化学療法誘発性末梢神経障害に対するデュロキセチンの臨床経験	364
	国居 由香 (長門総合病院 外科)	
P070-8	化学療法の末梢神経障害におけるデュロキセチンの使用経験	364
	高瀬 美咲枝 (厚生連高岡病院 総合がん診療センター)	
P070-9	ベグフィルグラスチム導入前後の血液毒性の評価と経済的負担	364
	増田 義雄 (先端医療センター病院 薬剤科)	
P070-10	がん末期患者へのアルブミン製剤投与の実態	365
	後藤 宏顕 (江戸川病院 腫瘍血液内科)	

P070-11 認知症をもつがん患者の治療に関する治療医・緩和ケアチームの意向調査 365



小川 朝生（国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野）

P071

抗がん治療(化学内分療法、放射線治療)

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学）

P071-1 緩和ケア外来・緩和ケアチームが主導で化学療法を導入した3例について 365

則行 敏生（JA尾道総合病院 緩和ケアチーム）

P071-2 緩和ケア病棟におけるEGFR-TKI、ALK阻害剤の投与 365

加藤 晋一郎（あそびバーラ病院 薬剤部）

P071-3 乳癌転移再発状態で化学療法のメンテナンス治療で長期QOLを維持した症例 366

吉田 秀行（関西医科大学 外科）

P071-4 外来化学療法での問診時に「がんサポートチェックシート（スクリーニングシート）」を活用した患者の主観的な苦痛の緩和へ向けた取り組み 366

安田 純子（市立豊中病院 緩和ケアチーム、市立豊中病院 看護部）

P071-5 当院における外来化学療法の制吐剤の使用および効果調査 366

井上 正広（秋田大学医学部附属病院 腫瘍内科）

P071-6 高齢者における化学療法中止理由の検討 366

本多 和典（名古屋大学医学部附属病院 化学療法部）

P071-7 症状緩和にむけたデガレリクス酢酸塩の注射部位反応におけるインタビューフォーム情報と臨床症状との差異の検討 367

西田 恵美（福岡大病院 薬剤部）

P071-8 難治性腹水に対して骨盤への放射線治療が有効と考えられた乳癌腹膜播種の1例 367

小野 亮子（那覇市立病院 外科）

P071-9 サイバーナイフによる骨転移に対する定位放射線治療と従来の治療との比較 367

南 和徳（長崎みなとメディカルセンター市民病院 放射線科）

P071-10 終末期進行肺癌に対して症状緩和目的に胸部放射線治療を施行し、帰宅可能となった2例の報告 367

山野 貴史（埼玉医科大学総合医療センター 放射線腫瘍科）

P071-11 外来放射線化学療法を受ける患者への多職種チーム医療の1事例 368

福岡 真実（静岡県立静岡がんセンター 看護部）

P072

抗がん治療(放射線治療)、外科治療1

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：村上 望（厚生連高岡病院 緩和ケア外科）

P072-1 当院における転移性脊椎腫瘍に対するリエゾンチーム医療の現状と今後の展望 368

釋倉 竜司（川崎医科大学 放射線科（治療））

P072-2 当院におけるがんサポートボード転移性骨腫瘍の役割と有用性 368

下田 絵美子（奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座）

P072-3 当院緩和ケア病棟における放射線治療の現状報告 368

長 美鈴（聖路加国際病院 緩和ケア科）

P072-4 原発性脳腫瘍に対する全脳照射治療の終末期への影響 369

阿波 宏子（藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座）



P072-5	乳癌髄膜播種による視力障害に全脳照射が有効であった1例 下井 辰徳 (国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科)	369
P072-6	超高齢者で易出血性局所進行乳癌に対する緩和的乳房全摘術を施行した症例の検討 村上 絵里子 (本庄総合病院 外科)	369
P072-7	切除不能膵癌十二指腸狭窄にて腹腔鏡下胃空腸バイパス術を施行したエホバの証人患者の一例 尾崎 知博 (鳥取大学医学部 病態制御外科)	369
P072-8	婦人科疾患における緩和医療への外科医の関わり 柳 政行 (済生会川内病院 外科、済生会川内病院 緩和ケアチーム)	370
P072-9	消化管通過障害に対して外科手術により経口摂取が可能となった3症例 中藤 嘉人 (岩国市医療センター医師会病院)	370
P072-10	巨大腹壁癰瘍ヘルニアを有する卵管癌術後、癌性腹膜炎、膀胱腫瘍S状結腸癌に対し、 回腸ストーマ造設により劇的な症状改善を得た一例 中山 俊二 (神戸海星病院 外科)	370
P072-11	がん性腹膜炎・腹膜播種病変による腸閉塞に対する緩和手術 豊見山 健 (沖縄赤十字病院 外科)	370

P073

6月20日(土)14:30-15:30

外科治療2、インターベンショナルラジオロジー、その他の痛み以外の身体症状・治療1 ポスター会場


座長：岡 義雄 (西宮市立中央病院 外科)

P073-1	当院における進行・終末期癌患者に対する緩和手術と消化管ステント留置に関する検討 児山 香 (東北薬科大学病院 消化器外科)	371
P073-2	進行再発癌による上部消化管閉塞に対する胃空腸バイパス症例の検討 中村 聖華 (盛岡赤十字病院 外科)	371
P073-3	緩和医療を考慮したがん治療における患者のQOL改善の試み 吉田 良 (関西医科大学 外科学講座)	371
P073-4	骨転移がんサーボード設立後の手術症例24例の検討 一整形外科医を中心とした当院の取り組みについて 澤田 良子 (東京大学 医学部附属病院 整形外科)	371
P073-5	局所進行乳癌に対する動注・塞栓療法を用いた緩和治療 矢野 正雄 (南町田病院)	372
P073-6	Barrett食道癌による下部食道狭窄に対して、2回の食道ステントを留置し 外来通院可能となった1例 長嶺 直治 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 外科)	372
P073-7	緩和医療としてハイパーサーミアを施行した進行再発胃癌の2例 田口 宏一 (砂川市立病院 外科、砂川市立病院 がん相談支援センター)	372
P073-8	癌末期患者における寝汗に対して漢方薬が奏効した一症例 大前 隆仁 (兵庫県立加古川医療センター 緩和ケア内科)	372
P073-9	オプソクローヌス (opsoclonus)、パリラリア (palilalia) を呈し、 臨床的に傍腫瘍性神経症候群と診断した卵巣癌患者の治療経過について 佐藤 晶子 (藤沢湘南台病院 緩和ケア科)	373
P073-10	食道閉塞による頻回な唾液の吐き出しに対してスコボラミン臭化水素酸塩水和物注の 舌下投与が有効であった1症例 新行内 健一 (渋川総合病院 緩和ケアチーム、薬剤科)	373

P074
その他の痛み以外の身体症状・治療2

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：高瀬 久光（北陸大学 薬学部）

- P074-1 終末期でも光を—余命2週間での白内障手術— 373
三浦 麻絵（札幌徳洲会病院 看護部）
- P074-2 間欠鎮静を希望され、ミダゾラムを長期投与した1例 373
村上 雅彦（岩手県立大船渡病院 緩和ケアチーム）
- P074-3 進行食道癌に対する化学療法中に予測された大動脈食道瘻合併予防として
胸部大動脈ステントグラフト留置により延命し得た1例 374
麓 祥一（大分中村病院 外科、大分大学 医学部 消化器・小児外科）
- P074-4 進行胃がん、慢性透析患者の家族を看取る苦悩 374
伊東 洋（医療法人誠心会井上病院 緩和ケア内科）
- P074-5 終末期がん患者における眼のケアについて～五感改善活動・第2報～ 374
金石 圭祐（JCHO東京新宿メディカルセンター）
- P074-6 脳神経症状を伴う頭蓋底骨転移に対する緩和的放射線治療 374
角田 貴代美（静岡県立静岡がんセンター 放射線治療科）
- P074-7 ドロペリドールの緩和ケアにおける症状マネジメント治療薬としての可能性について 375
谷口 彩乃（京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座）
- P074-8  腫瘍熱と感染を鑑別する因子を探索する多施設コホート研究：J-FIND 4 375
小田切 たくや（聖隷三方原病院 ホスピス科）
- P074-9 ルビプロストンと酸化マグネシウムの併用効果 375
妹尾 啓司（地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院 薬剤部）
- P074-10 化学療法副作用における末梢神経障害に対しPain Visionをもちいて検討した一例 375
小田 道夫（若草第一病院）

P075
多職種協働・チーム医療1

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：所 昭宏（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 心療内科/支持・緩和療法チーム）

- P075-1 患者・家族の思いに添って～多職種連携により自宅退院できた事例～ 376
齋藤 春美（山形県立河北病院 看護部）
- P075-2 多職種・複数科協働し両下肢壊疽患者の治療方針を決定した1症例 376
清水 雅子（一般財団法人住友病院麻酔科）
- P075-3 3分野認定看護師（CERTIFIED NURSE）と外来看護師間の連携を要した1事例 376
川嶋 麻有（市立千歳市民病院 看護部、市立千歳市民病院 緩和ケアチーム）
- P075-4 がんサポートチェックシート（スクリーニング）を活用し
患者の問題解決につながった事例 376
西浦 志保（市立豊中病院 緩和ケアチーム、市立豊中病院 看護部）
- P075-5 緩和ケアチームの介入により化学療法の導入ができた乳がん患者の1例 377
藤原 ちえみ（JA尾道総合病院 緩和ケアチーム）
- P075-6 数十年ぶりの再会を果たし温かな最期の時間を過ごせた末期肝臓がんの一例 377
岡村 直美（東京慈恵会医科大学付属柏病院緩和ケアチーム）
- P075-7 化学療法初期の段階から早期緩和ケア介入を行った一例 377
澤畑 ひろみ（株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院 看護局）

 マークは優秀演題です。

P075-8	“帰りたい”を支える～多職種間連携申し送り書の活用～	377
	高藤 早苗（董仙会 恵寿総合病院 緩和医療科）	
P075-9	介護力が不十分な状況における患者・家族への退院支援を振り返って	378
	比嘉 亜紀（医療法人 敬愛会 中頭病院）	
P075-10	チーム医療・在宅をつなぐ看護師の役割 進行了心臓腫瘍患者が自宅で終末期を迎えるための援助	378
	濱 敦子（岩手県立中央病院）	
P075-11	彼女が選んだ、いえ（HOME）での時間～下部消化管閉塞に対する、 緊急人工肛門造設術による症状緩和・院内多職種、在宅医との連携を通して～	378
	竹内 愛（総合病院 山口赤十字病院 緩和ケア科）	

P076

多職種協働・チーム医療2

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：岸田 さな江（獨協医科大学病院 地域医療連携センター退院支援室 看護部）

P076-1	単身独居の終末期がん患者の意思を最期まで支えた援助について ～緩和ケア外来で火葬費用はいくらかりますか？という相談を受けて～	378
	堀 孔美恵（東邦大学 医療センター 大橋病院 緩和ケアチーム）	
P076-2	緩和的放射線照射における主治医、放射線腫瘍科、がん疼痛治療科の連携	379
	櫻井 宏樹（がん研有明病院 がん疼痛治療科、がん研有明病院 がん治療支援チーム）	
P076-3	在宅看取りを目標とした退院支援～多職種との連携による家族支援の在り方～	379
	小濱 綾乃（社会医療法人 敬愛会 中頭病院 呼吸器内科病棟）	
P076-4	高機能自閉症の腸間膜巨大脂肪肉腫患者に対し緩和ケアチーム・ 栄養サポートチームを含めた多職種で支えた一例	379
	山根 泰子（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立急性期・総合医療センター NST、 同 緩和ケアチーム、同 栄養管理室）	
P076-5	終末期がん患者の「看取りに関する意思決定」を支えた医療チームのかかわり	379
	田村 直美（広島赤十字・原爆病院）	
P076-6	皮膚浸潤した乳癌患者の看取り時期をチームで関わった一事例	380
	秋庭 美幸（社会福祉法人 恩賜財団 済生会唐津病院）	
P076-7	終末期がん患者・家族の在宅療養支援における多職種協働 「在宅患者訪問看護・指導料3」を活用した事例を通してみえてきた課題	380
	金城 恵（沖縄赤十字病院 看護部）	
P076-8	当院におけるフェンタニルレスキュー錠導入システムの構築と運用	380
	大柄根 いづみ（横浜市立大学附属 市民総合医療センター 緩和ケアチーム、同 薬剤部）	
P076-9	がん看護専門看護師による地域ネットワーク活動の現状と課題	380
	鈴木 笑子（西胆振がん看護専門看護師の会）	
P076-10	1 総合病院における医療者が緩和ケア委員会へ期待する内容の分析	381
	鈴木 笑子（市立室蘭総合病院）	
P076-11	緩和ケアにおけるリンクナースの活動・課題に関する文献研究	381
	鈴木 笑子（市立室蘭総合病院）	

P077
多職種協働・チーム医療3

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場


座長：宮崎 信子（杏順会越川病院）

- P077-1 **がんリハビリテーションの立ち上げに伴った当院でのがん勉強会の取り組み** 381
松本 みゆき（社会医療法人 高清会 高井病院）
- P077-2 **当院外科病棟における緩和ケア認定看護師と病棟薬剤師による緩和ケアラウンドの取り組みと課題** 381
丹澤 千晶（市立甲府病院 看護部）
- P077-3 **多職種協働で行ったPCAポンプ導入への取り組み** 382
萱原 沙織（香川県立中央病院、看護部）
- P077-4  **人生の最終段階に対応できる人材養成講座の実施と今後の課題** 382
小澤 竹俊（めぐみ在宅クリニック）
- P077-5 **チーム医療におけるコンフリクト管理～対立を共創造のプロセスと捉えて～** 382
清水 広久（埼玉成恵会病院 外科）
- P077-6 **当院におけるEOLカンファレンスの現状** 382
川淵 朱美（井原市立井原市民病院 看護部）
- P077-7 **「がん患者サポートチェックシート」によるがん患者スクリーニング実施報告** 383
二宮 由紀恵（市立豊中病院 緩和ケアチーム、市立豊中病院 看護部）
- P077-8 **外来がん患者の病名告知時に認定看護師が同席する意義の検討** 383
室田 かおる（名古屋第二赤十字病院 看護部、緩和ケアチーム）
- P077-9 **急性期病院における多職種への緩和期がんリハビリテーション認知度向上への取り組み** 383
永田 友美（トヨタ記念病院 リハビリテーション科）
- P077-10 **当院の作業療法におけるがん介入への取り組み** 383
前田 温子（トヨタ記念病院 リハビリテーション科）
- P077-11 **浅草地域における多職種連携“緩和ケア啓発浅草モデル”の構築“顔の見える関係”“共通用語づくり”を目指して** 384
宮原 富士子（ケイ薬局、浅草かんわネットワーク研究会）

P078
多職種協働・チーム医療4

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：番匠 千佳子（聖隷浜松病院）

- P078-1 **緩和ケア認定看護師資格取得後2年間の活動状況と今後の課題** 384
奥村 恵子（特定医療法人 同心会 遠山病院 緩和ケアチーム）
- P078-2 **がん領域の認定看護師と認定薬剤師の協働支援について～がん患者指導管理料に対する取り組みから得た結果と課題～** 384
高橋 知子（独立行政法人国立病院機構大分医療センター）
- P078-3  **造血器腫瘍患者への緩和ケアチーム介入における特徴と課題** 384
藤澤 陽子（千葉大学医学部附属病院 緩和ケア支援チーム）
- P078-4 **症状緩和とクリニカルパスの作成・運用と今後の課題** 385
森本 優子（春日井市民病院）
- P078-5 **多職種カンファレンスの向上を目指して** 385
田畑 美雪（尾道市公立みつぎ総合病院）

P078-6	診療報酬の視点から緩和ケア提供体制の充実に貢献するための当院での取り組み	385
	矢上 奈里（製鉄記念八幡病院 経営管理部経営企画課、製鉄記念八幡病院 医事部医事課）	
P078-7	都道府県がん拠点病院との連携カンファレンス参加後の緩和ケア病棟に携わるスタッフの意識変容	385
	小鷹 康代（社会医療法人きつこう会 多根総合病院 看護部）	
P078-8	イーフェン®バックル錠の使用を振り返って～タイトレーションパス作成～	386
	鍛治 圭子（一般社団法人 玉名都市医師会立 玉名地域保健医療センター 緩和ケア委員会）	
P078-9	一般（ケアミックス）病院の療養病棟におけるがん患者の看取りの検討	386
	戸田 宏子（公益財団法人 横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院 薬剤部）	
P078-10	緩和ケアにおけるリンクファーマシストを活用した治療介入への取り組み	386
	若山 みどり（慶應義塾大学病院 薬剤部）	
P078-11	緩和ケア病棟における多職種デスカンファレンスの意義	386
	向山 敦子（静岡県立 静岡がんセンター 看護部）	

P079 多職種協働・チーム医療5

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：上杉 英生（国立研究開発法人国立がん研究センター東病院）

P079-1	緩和ケアの実践に各診療科の協力が必要不可欠である！	387
	三木 仁司（医療法人倚山会 田岡病院 緩和ケア科）	
P079-2	診療所におけるがん薬物療法中の患者を支える看護師・薬剤師の連携による効果	387
	渡邊 摩実（浜松オノンコロジーセンター 渡辺医院）	
P079-3	地域がん診療拠点病院における緩和ケアに関する医師と看護師の認識調査	387
	岩崎 多津代（国立病院機構 東京医療センター）	
P079-4	緩和ケア病棟での多職種カンファレンスの一つである 「オープンカンファレンス」開催に対するアンケート評価	387
	伊藤 浩明（岐阜県立多治見病院 緩和ケア内科）	
P079-5	当院における多職種合同緩和ケアセミナーの取り組みについて	388
	桑門 心（大阪医科大学附属病院 緩和ケアチーム）	
P079-6	オキシコドン導入パスの作成－チーム医療による全人的苦痛緩和を目指して－	388
	藤井 美砂（済生会福岡総合病院 緩和ケアチーム）	
P079-7	当院の緩和ケア領域におけるPCAポンプ使用状況と今後の課題	388
	酒向 あずみ（国立病院機構霧ヶ浦医療センター薬剤科）	
P079-8	旭中央病院緩和ケア病棟における口腔ケアの効果	388
	石毛 明子（国保総合病院旭中央病院 緩和ケア病棟）	
P079-9	三重県内6病院を結んだ多職種緩和ケアテレビカンファレンスの評価 その1－量的検討－	389
	辻川 真弓（三重大学 医学部 看護学科）	
P079-10	三重県内6病院を結んだ多職種緩和ケアテレビカンファレンスの評価 その2－質的検討－	389
	坂口 美和（三重大学 医学部 看護学科）	
P079-11	救急部門で緩和医療を要する症例の現状 －当院救命救急センター受診で指摘された新規悪性腫瘍・転移症例による検討－	389
	吉田 真一郎（独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター 救急科）	

**P080
看護介入1**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：澤井 美穂（公立学校共済組合東海中央病院）


- P080-1 歯肉癌と診断をされた入所者の「食べたい」気持ちを支援して** 389
入江 弘子（小野田赤十字病院）
- P080-2 終末期における適切な排泄援助
～尿道カテーテル留置によりQOLが向上した2事例から学んだこと～** 390
遠藤 千栄（市立芦屋病院）
- P080-3 40歳で妊娠を希望する患者の精神的支援について～乳腺看護外来と連携した1事例～** 390
金川 貴子（兵庫県立がんセンター 看護部）
- P080-4 外来で全人的苦痛を持つ患者の療養を支えた1症例** 390
栗原 香織（日本医科大学武蔵小杉病院 看護部）
- P080-5 心を閉ざした患者と家族を結び、最期を見取る
～自分らしさを忘れず生き抜いた女性の看護を通して～** 390
目差 由香里（社会医療法人 敬愛会 中頭病院 呼吸器内科病棟）
- P080-6 口腔内腫瘍から出血する患者への口腔ケアの一症例** 391
尼子 千秋（広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院）
- P080-7 1人になることで不安が増強する緩和ケア病棟の患者にロボットセラピーが効果的であった
1事例についての報告** 391
佐藤 幸代（国立がん研究センター東病院 看護部）
- P080-8 終末期における家族関係の再構築
～家族内役割を果たせていないと感じているA氏との関わり～** 391
倉智 純子（地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院）
- P080-9 苦痛のスクリーニングの取り組みと今後の課題** 391
崎山 奈津子（春日井市民病院 看護局）
- P080-10 切除不能がん患者へのインフォームドコンセントにおける看護支援内容の分析** 392
守谷 祐希子（松山赤十字病院）

**P081
看護介入2**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：藤田 佐和（高知県立大学 看護学部）

- P081-1 がん看護専門看護師によるデスカンファレンスの介入評価と今後の課題について** 392
鶴見 紘子（総合病院 伊達赤十字病院）
- P081-2 がんに関する病状説明時における認定看護師の役割の検討** 392
内藤 潤（近畿中央胸部疾患センター 看護部、
近畿中央胸部疾患センター 支持・緩和療法チーム）
- P081-3 放射線療法を受ける患者の疼痛に対する看護介入と今後の課題** 392
内川 吾子（独立行政法人国立病院機構相模原病院 看護部）
- P081-4 苦痛のスクリーニングシステムの構築** 393
中嶋 由紀子（長崎大学病院がん診療センター）
- P081-5 看護師による「緩和ケアナースラウンド」への相談内容
～病棟看護師への御用聞きラウンド～** 393
田畑 ひろみ（東邦大学医療センター大橋病院 看護部、
東邦大学医療センター大橋病院 緩和ケアチーム）

P081-6	当院におけるエンゼルケアの現状調査と課題 393	
	白波瀬 道子（綾部医療公社 綾部市立病院）	
P081-7	一般病棟に入院中のがん患者が看護師との日常のコミュニケーションに求めること 393	
	松永 智志（公益社団法人 地域医療振興協会 市立恵那病院 看護部）	
P081-8	抗EGFR抗体薬投与中の患者への看護師によるスキンケア指導の効果 ーセツキシマブ投与中のがん患者を対象にー 394	
	原子 裕子（国立病院機構 金沢医療センター、石川県立看護大学大学院）	
P081-9	A地域におけるオピオイド使用患者の服薬錠数とPSの関係 394	
	竹内 純恵（岩見沢市立総合病院）	
P081-10	難治性大量腹水に対するKM-CARTにおける現状とクリニカルパスの安全性 394	
	草場 法子（医療法人社団 愛語会 要町病院 看護部）	


P082

看護介入3、薬剤師・薬学的介入

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：片山 志郎（日本医科大学付属病院 薬剤部）

P082-1	外来化学療法中患者の日常生活に影響を及ぼす副作用とつらさの把握 394	
	竹内 亜由美（西知多医療厚生組合 知多市民病院）	
P082-2	医療用麻薬使用患者に対するがん看護外来の現状と課題 395	
	稲垣 和美（公立陶生病院 がん診療部 緩和ケアセンター）	
P082-3	外来で医療用麻薬を開始した患者への指導のあり方と今後の課題 395	
	成瀬 和仁（公立陶生病院 がん診療部 緩和ケアセンター）	
P082-4	緩和ケア患者との関わりにおけるカンファレンス実施の効果 395	
	小島 真紀（仙台医療センター）	
P082-5	外来がん患者医療用麻薬導入時の患者教育における看護介入の評価 395	
	水元 弥生（公立陶生病院）	
P082-6	一般病棟のターミナル後期患者に対して希望を叶えた看護判断と実践についての検討 396	
	三室 菜美（独立行政法人 地域医療機能推進機構 金沢病院）	
P082-7	保険薬局における包括的な在宅医療体制が患者QOLの改善に寄与した症例の検討 396	
	柴田 賢三（株式会社ヤナセ薬局 在宅医療部）	
P082-8	モース軟膏の粘稠度・成分比率の検討により局所コントロールが可能となった 進行乳がん患者の1例 396	
	小川 弘太（国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 薬剤科、 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 緩和ケアチーム）	
P082-9	トラムセット配合錠の服用により視力障害を発現した1例 396	
	出水 睦子（市立伊丹病院 薬剤科、市立伊丹病院 緩和ケアチーム）	
P082-10	外来患者におけるオピオイド関連処方箋の現状および問題点の検討 397	
	西川 智子（大垣市民病院 薬剤部、大垣市民病院 緩和ケアチーム）	
P082-11	緩和ケア病棟におけるポリファーマシーに対する薬剤師の介入効果 397	
	松本 梓（飯塚病院 薬剤部）	

一般演題ポスター
6/20
(土)

P083
ソーシャルワーク、リハビリテーション1

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：大石 春美（医療法人心の郷 穂波の郷クリニック）

- P083-1 がん地域連携バスにおける社会福祉士による介入の実際：
x2検定による性差医学の視点** 397
三谷 勇一（八尾徳洲会総合病院）
- P083-2 緩和ケア病棟ではない一般総合病院における緩和ケア病床の存在意義とは？** 397
中井 貴絵（医療法人倚山会 田岡病院 地域連携室）
- P083-3 救命救急センターに搬送された終末期がん患者への退院支援から見てきた課題** 398
田村 佳奈（関西医科大学附属滝井病院 医療福祉相談課）
- P083-4 多発骨転移を呈しながらも主婦として復帰できた一症例** 398
熊野 宏治（パナソニック健康保険組合 松下記念病院 リハビリテーション室）
- P083-5 「娘のために何かできないか。」29歳の我が子を看取らなければならない母親へ理学療法士ができること。
～共にリンパマッサージをすることが家族ケアに繋がった一例～** 398
溝田 さやか（公益社団法人 出水郡医師会 広域医療センター 診療技術部 リハビリテーション科）
- P083-6 前立腺癌脊椎転移患者の機能的予後予測が困難であったが屋内歩行の獲得に至った
1症例** 398
奥平 由香（松下記念病院 リハビリテーション室）
- P083-7 がんのリハビリテーション介入により、せん妄が改善した1症例** 399
作村 里美（熊本赤十字病院 リハビリテーション科）
- P083-8 リハ介入により在宅生活への希望を達成できた多発肺、肝、骨転移を有する直腸癌の
1例** 399
松原 朗（医療法人為久会 札幌共立五輪橋病院 リハビリテーション科）
- P083-9 入院早期から自宅退院を共通目標として連携し円滑に在宅療養へ移行できた前立腺癌末期の
一症例** 399
石井 大輔（社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院）
- P083-10 「歩きたい」「食いたい」との希望が強かった一事例** 399
中野 健介（医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科）

P084
リハビリテーション2

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：吉澤 孝之（医療法人社団愛語会要町病院）

- P084-1 四季を感じる集団作業活動（季節の会）を通して死と向き合う** 400
川上 麻友（公益社団法人 福岡医療団 たたらリハビリテーション病院）
- P084-2 看取り近くまでの理学療法を实践した終末期がん患者1症例における入院と
訪問の担当理学療法士の連携について** 400
河野 茉莉絵（宝持会 池田病院 総合リハビリテーションセンター）
- P084-3 脊髄圧迫による下肢運動麻痺を認めるがん患者に対して離床時安全評価を行い、
積極的に歩行練習を含んだ運動療法を行った症例の経過報告** 400
井口 暁洋（昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室）
- P084-4 目標設定を詳細に設定したことが活動意欲向上につながった肝臓がん終末期の一症例
～急性期病院から自宅退院に向けて～** 400
河原 一剛（順天堂大学医学部附属静岡岡病院 リハビリテーション室）

P084-5	進行乳がん患者との関わりの一例 ～維持的リハビリテーションと緩和的リハビリテーション～	401
	今別府 和徳（社会医療法人 共愛会 戸畑リハビリテーション病院）	
P084-6	両側片麻痺を呈した終末期の急性骨髄性白血病患者への理学療法士としての関わり	401
	松本 慎也（筑波記念病院）	
P084-7	緩和ケア病棟から退院後、訪問リハビリテーションを継続した1症例	401
	藤本 裕香子（誠心会 井上病院 理学療法士）	
P084-8	病的骨折を呈した多発性骨髄腫患者の在宅復帰まで ～がんリハビリテーションの関わり、つらさと支障の寒暖計を用いて～	401
	井上 研作（荒尾市民病院 リハビリテーション技術科）	
P084-9	当院（急性期病院）におけるがんリハビリテーションの変化	402
	井上 研作（荒尾市民病院 リハビリテーション技術科）	
P084-10	緩和病床を持つ小病院における訪問リハビリテーションの位置を考える	402
	井上 俊孝（西九州大学 健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科、医療法人誠心会 井上病院）	

P085

リハビリテーション3

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：伊藤 真美（花の谷クリニック）

P085-1	終末期がん患者の生きる希望と残される家族を支えたリハビリテーション	402
	吉田 真奈美（社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院）	
P085-2	当院における緩和ケア病棟へのリハビリテーション介入について	402
	松林 梓（一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院 リハビリテーション科）	
P085-3	がんのリハビリテーションにおける情報共有の方法	403
	浅沼 有香（公益財団法人 総合花巻病院 南2病棟）	
P085-4	理学療法士と医師の対話を通してend of life care におけるQOL維持を考える ーレスポンス・シフトを参照枠としてー	403
	久保 速三（独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 緩和ケア科）	
P085-5	当院におけるがん患者のリハビリテーションの現状と課題について	403
	松下 純子（大森赤十字病院 リハビリテーション課）	
P085-6	がん関連のリハ分野の健康教室内容の検討	403
	松目 和己（社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院 リハビリテーション室）	
P085-7	急性期病院の緩和ケアチームにおけるリハビリテーションの役割	404
	楠本 和宏（社会医療法人 春回会 井上病院 リハビリテーション科）	
P085-8	淡路島内におけるがんリハビリテーションの現状把握および啓発のこころみ ー既存会議を活用してー	404
	山田 裕次郎（兵庫県立淡路医療センター リハビリテーション科）	
P085-9	緩和ケアリハビリテーションにおける地域連携の重要性	404
	山田 裕次郎（兵庫県立淡路医療センター リハビリテーション科）	
P085-10	当院における血液がん患者に対する作業療法	404
	池知 良昭（香川県立中央病院リハビリテーション部作業療法科）	

**P086
リハビリテーション4**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場


座長：井上 聡（聖隷三方原病院 ホスピス科）


- P086-1 オピオイド適正使用によるがんリハビリテーションの可能性** 405
村田 京子（市立函館病院）
- P086-2 終末期・緩和ケアを担当する作業療法士の苦しみ
～作業療法士の語りを元に対人援助論からの分析と援助～** 405
東谷 成晃（社会医療法人共愛会 戸畑リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P086-3 在宅におけるがんのリハビリテーションの現状と課題
～在宅医療に従事する看護師とケアマネージャーに対するアンケート調査からの検討～** 405
島崎 寛将（社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 作業療法室）
-  **P086-4 保存療法を行うがん患者のうつ傾向が下肢筋力におよぼす影響と
それに対する低強度運動プログラムの効果** 405
中野 治郎（長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻 理学療法学分野）
- P086-5 当院の緩和ケア病棟におけるリハビリテーションの現状と課題** 406
山田 文之（札幌清田病院 リハビリテーション科）
- P086-6 がん患者の痛みによる主観的な生活支障度と身体・精神症状、身体活動、QOLとの関係** 406
石井 瞬（長崎大学病院 リハビリテーション部）
- P086-7 緩和ケアチーム回診におけるリハビリテーションスタッフ同行の意義** 406
端谷 僚（名古屋第二赤十字病院 リハビリテーション課、
名古屋第二赤十字病院 緩和ケアチーム）
- P086-8 緩和ケア病棟におけるリハビリテーションの介入状況について** 406
東原 太郎（光仁会西田病院 リハビリテーション科）
- P086-9 入院がん患者の自己効力感とQOLの関連
～当院ホスピス緩和ケア病棟と一般病棟による検討～** 407
本田 直也（医療法人財団 華林会 村上華林堂病院 リハビリテーション科）
- P086-10 がん患者のリハビリテーションにおける当院看護師の現状** 407
小川 雅子（JA秋田厚生連 秋田厚生医療センター 看護部）

**P087
リハビリテーション5**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：中山 紀子（医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 リハビリテーション部）

- P087-1 大腿骨転移症例の獲得移動能力とその維持期間について** 407
三浦 季余美（順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 リハビリテーション室）
-  **P087-2 保存的治療を実施した転移性脊椎腫瘍症例のFrankel分類・移動能と
リハビリテーション実施期間の関連性** 407
北原 エリ子（順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 リハビリテーション室）
- P087-3 進行がん患者に対する在宅および転院におけるADLの比較検討** 408
今 美香（青森県立中央病院 リハビリテーション科）
- P087-4 栄養状態の変化が化学療法中がん患者の下肢筋力に及ぼす影響** 408
近藤 心（徳島大学病院 リハビリテーション部）
- P087-5 リハビリテーションは終末期がん患者のADLとQOLを改善させるか** 408
木原 歩美（淀川キリスト教病院）

P087-6	緩和ケアが主体となる時期のリハビリテーション～当院での取り組みと実績～	408
	吉本 慎（国立病院機構 東京医療センター リハビリテーション科）	
P087-7	急性期緩和ケアでの動作能力指標の検討	409
	長谷川 真人（東京大学 医学部 附属病院 リハビリテーション部）	
P087-8	終末期がん患者における大腰筋面積と客観的QOLの関係	409
	青木 景資（社会医療法人社団カレスサポロ時計台記念病院 理学療法科）	
P087-9	終末期がん患者の主観的QOLとADLの関係について	409
	渡邊 真樹（カレスサポロ 時計台記念病院）	

P088

6月20日（土）14:30-15:30

栄養サポートチーム、心理専門職・精神科医、チャレンジャー・宗教家、ボランティア、補完代替療法（鍼灸、音楽療法・芸術療法、アロマセラピーなど）1 ポスター会場

座長：田村 洋一郎（山手医院）

P088-1	CT画像での大腰筋面積～症例からの栄養/全身状態との相関～	409
	三浦 みつほ（大崎市民病院 NST）	
P088-2	在宅医療における地域栄養サポートチームの関わり	410
	太田 一樹（鎌倉女子大学 家政学部 管理栄養学科、めぐみ在宅クリニック）	
P088-3	摂食・嚥下障害を呈した終末期がん患者への嚥下内視鏡検査を用いた対応 ～緩和ケアチームと嚥下チームの連携～	410
	岡野 博之（第二岡本総合病院 耳鼻咽喉科）	
P088-4	ほとんど食べられなくなった終末期のがん患者さんに対するワンプレート食器を用いた 取り組みの有用性に関する検討	410
	大橋 佐智子（彦根市立病院 栄養科・栄養治療室）	
P088-5	化学療法中の味覚の変化は生活に影響する	410
	中川 那実江（公立玉名中央病院 症状緩和ケア委員会、公立玉名中央病院 栄養科）	
P088-6	緩和ケア病棟に精神科医が専従することの効果について	411
	熊谷 晴子（市立ひらかた病院）	
P088-7	終末期がん患者のスピリチュアルペインの緩和を目指して 一臨床宗教師による関わりを取り入れた活動一	411
	藤本 弘信（浄土真宗本願寺 専明寺）	
P088-8	緩和ケア病棟における医学生による傾聴ボランティア活動とその意義	411
	中島 新（藤田保健衛生大学 医学部 医学科）	
P088-9	音楽療法が糸口となり家族が寄り添うことができた1事例	411
	橋本 みさ子（高砂市民病院 緩和ケア病棟）	
P088-10	その人らしさを取り戻した音楽療法	412
	山内 愛（社会福祉法人 回生会 特別養護老人ホーム 伊予千寿苑）	

P089

6月20日（土）14:30-15:30

補完代替療法（鍼灸、音楽療法・芸術療法、アロマセラピーなど）2

ポスター会場

座長：関川 加奈子（京都府立医科大学附属病院 看護部・疼痛緩和医療部 緩和ケアセンター）

P089-1	脳転移で頭痛（電撃痛）のあるがん患者に補完代替療法（漢方薬）が有効であった 1 症例	412
	野村 洋子（一宮市立 木曽川市民病院）	
P089-2	緩和ケアにおけるAnimal Assisted Therapy（AAT）の実際	412
	安藤 雅子（高野病院 AATコーディネーター）	

 マークは優秀演題です。

P089-3	イリノテカノン+パニツムマブ療法による四肢のしびれに対して鍼灸治療が有効であった 1症例	412
	原 敬昌 (明治国際医療大学大学院 鍼灸学研究科)	
P089-4	アロマセラピストの資格を持つ看護師の緩和ケアチームへの参加と アロマセラピーマッサージの提供	413
	亀井 由美 (高槻赤十字病院 看護部)	
P089-5	当院の緩和ケアにおけるAnimal Assisted Therapy (AAT) 症例のまとめ	413
	高野 正博 (高野病院 外科)	
P089-6	緩和病棟での音楽療法の必要性 ～その人らしさを引き出す音楽療法・夢をかなえる音楽療法～	413
	寺田 光 (医療法人愛寿会 西条愛寿会病院)	
P089-7	血液内科病棟のアロマセラピー導入による移植治療患者の気持ちの変化	413
	中川 友里 (滋賀医科大学 医学部付属病院)	
P089-8	在宅緩和ケアにおける鍼灸治療の意味－鍼灸治療を「楽しみ」と語った患者－	414
	高梨 知揚 (東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科、 早稲田大学大学院 人間科学研究科 健康・生命医学研究領域)	
P089-9	当院緩和ケア病棟における、フォトケアにより患者家族が受けた心理的変化の アンケート調査	414
	宮田 美穂 (慈愛会今村病院 看護部)	
P089-10	がん終末期患者に対する補完代替療法の有用性、特に東洋医学的治療を中心に	414
	伊藤 彰博 (藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座)	

**P090
ホスピス・緩和ケア病棟1**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：安保 博文 (国家公務員共済組合連合会六甲病院 緩和ケア内科)

P090-1	緩和ケア病棟における免荷式リフト (ボボ) の新たな活用事例について 『歩きたいと思う、人としての尊厳を可能にしたロボット技術の進化』	414
	河嶋 亨 (医療法人協仁会 小松病院 緩和ケア科)	
P090-2	緩和ケア病棟における新たな取り組み 『アザラシ型ロボット (パロ) がもたらす癒し効果について』	415
	河嶋 亨 (医療法人協仁会 小松病院 緩和ケア科)	
P090-3	当院緩和ケア病棟における短期間入院の検討	415
	久志 一郎 (国立病院機構 沖縄病院 緩和医療科)	
P090-4	ホスピス緩和ケア病院における入院患者の医療用麻薬自己管理に関する意識調査	415
	椎崎 正秀 (公立八女総合病院 薬剤科、みどりの杜病院 薬剤科)	
P090-5	デスケースカンファレンス事例選択のための簡易情報用紙デスシート活用の効果	415
	長谷川 八子 (兵庫県立加古川医療センター 緩和ケア病棟)	
P090-6	緩和ケア病棟の運営の工夫と救急対応10年間の実践と総括	416
	佐藤 健 (国立病院機構豊橋医療センター 外科)	
P090-7	緩和ケア病棟に勤務する看護師のモチベーションの自己認知とセルフケア実施に向けた取り組み ～ワークショップ『心のタンク』と『セルフケア計画』～	416
	高橋 里江 (がん・感染症センター都立駒込病院 看護部)	
P090-8	当院緩和ケア病棟における長期入院患者	416
	合屋 将 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 緩和ケア科)	

P090-9	がん診療拠点病院の緩和ケア病棟から退院後の在宅看取り支援を行った症例の検討	416
	渡辺 啓太郎 (岡山赤十字病院 緩和ケア科)	
P090-10	緩和ケアに従事する看護師の気持ちのつらさを軽減するために	417
	法華津 清子 (社会医療法人小寺会 佐伯中央病院)	

P091 ホスピス・緩和ケア病棟2

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：岡田 雅邦 (おかだ内科クリニック)

P091-1	緩和ケア病棟に勤務する看護師の思いと今後の課題～2年目を迎えて～	417
	平井 さゆり (公立甲賀病院)	
P091-2	開設3年目を迎えた緩和ケア病棟におけるケアの質評価	417
	中 良子 (市立岸和田市民病院 6階東病棟)	
P091-3	終末期のQOLに食が果たす役割～「美味しい」の為にできること	417
	三田 泰子 ((一財) ライフ・プランニング・センター ピースハウス病院 栄養部)	
P091-4	医療チームのグリーフケアとなるデスカンファレンス開催にむけた取り組み	418
	青木 清美 (独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター)	
P091-5	緩和ケア病棟開設までの道のりと開設後の問題点	418
	大場 一輝 (ベルランド総合病院)	
P091-6	有床診療所の緩和ケア～外来、在宅、病棟の連携を活かした取り組み～	418
	荒木 庸輔 (医療法人社団プラタナス 松原アーバンクリニック)	
P091-7	地域におけるかんわケア病棟の開設～開設初年度の評価～	418
	広瀬 真紀子 (地方独立行政法人 さんむ医療センター かんわケア病棟)	
P091-8	緩和ケア病棟看護師への相互理解を深めるための介入がパートナーシップマインドに与える影響	419
	松井 智子 (松阪市民病院 緩和ケア病棟)	
P091-9	精神発達遅滞を伴うがん患者に対する緩和ケアについて	419
	平田 敦子 (神山復生病院)	
P091-10	緩和ケア病棟における消臭対策～心地よい環境を提供するための試み～	419
	入谷 雄一 (松江市立病院)	

P092 ホスピス・緩和ケア病棟3

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：西村 幸祐 (岐北厚生病院 緩和ケアセンター)

P092-1	有意義なデスカンファレンスの開催を目指して～2年間の取り組み～	419
	吉田 葉子 (啓愛会 美山病院)	
P092-2	当院緩和ケア病棟スタッフが抱えるストレスの実態	420
	森田 敦志 (医療法人潤和会 札幌ひばりが丘病院 看護部 緩和ケア病棟)	
P092-3	Aホスピスの在院日数の短期化について	420
	齊藤 英一 (ピースハウス病院)	
P092-4	在宅看取りに移行した終末期患者・家族への看護援助～事例を通して～	420
	河道 くみ子 (福井県済生会病院 緩和ケア病棟)	
P092-5	緩和ケア病棟における転倒転落事故に関する検討	420
	吉井 こすえ (札幌清田病院 緩和ケア病棟)	

P092-6	当院緩和ケア病棟における自宅退院症例の検討	421
	入山 哲次 (NTT東日本関東病院 緩和ケア科)	
P092-7	当院緩和ケア病棟の看護師がケアにおいて悩む場面ー現状調査ー	421
	黒光 智恵子 (医療法人社団曙会 シムラ病院)	
P092-8	緩和ケア登録患者への電話介入を行なったの現状と課題	421
	本井 真樹 (京都市医連中央病院 緩和ケア病棟)	
P092-9	緩和ケア病棟で看取りを行った認知症を有するがん患者の臨床経過の検討	421
	斎藤 唯 (光仁会西田病院看護部)	
P092-10	終末期がん患者に出現する臨床症状の疾患特異性に関する検討	422
	村井 美代 (藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学)	

P093

ホスピス・緩和ケア病棟4、緩和ケアチーム1

6月20日(土)14:30-15:30

ポスター会場

座長：下稲葉 順一 (社会医療法人栄光会 栄光病院)

P093-1	緩和ケア内科に紹介された当院のがん終末期患者の療養場所が決まるまで	422
	田中 祐子 (兵庫県立加古川医療センター 緩和ケア内科)	
P093-2	緩和ケア病棟入院患者の転倒・転落リスク因子の抽出 ー転倒・転落スコアアセスメントシートの妥当性評価と併せてー	422
	松井 孝至 (栃木県立がんセンター 緩和医療部)	
P093-3	緩和ケア病棟におけるMSWによる退院支援の検討	422
	長江 浩幸 (総合病院 南生協病院 内科)	
P093-4	デスカンファレンス実施後の内容分析 ～A病院緩和ケア病棟における終末期がん看護への課題～	423
	清野 幸子 (船橋市立医療センター 看護局)	
P093-5	緩和ケア病棟における悪性脳腫瘍終末期医療の現状	423
	相原 英夫 (兵庫県立加古川医療センター 脳神経外科)	
P093-6	緩和ケアチームの介入によりうつ病と診断され、電気けいれん療法が奏功し 抗がん治療を継続できた乳がん患者の一例	423
	實森 直美 (国立病院機構呉医療センター 緩和ケアチーム、 国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 看護部)	
P093-7	フェンタニル速放製剤で眠気が出現した2事例	423
	蔵園 円 (福岡大学筑紫病院 緩和ケアチーム、福岡大学筑紫病院 看護部)	
P093-8	対応に苦慮する患者の関わりを通して緩和ケアチームの役割を考える ーアギレラの危機回避モデルで振り返るー	424
	唐澤 由美 (独立行政法人国立病院機構 まつもと医療センター松本病院 緩和ケアチーム)	
P093-9	ALS患者の不安への緩和ケアチーム介入	424
	奥間 かおり (独立行政法人国立病院機構沖縄病院)	
P093-10	大阪医療センターにおけるPWA (People with AIDS) サポートチームの活動報告と 課題	424
	道川 綾加 (国立病院機構 大阪医療センター PWAサポートチーム、同看護部)	

**P094
緩和ケアチーム2**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：松原 貴子（三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター）

- P094-1 砂川市立病院における一般病棟看護師のアセスメントスキルの評価
～緩和ケアチームラウンドでの介入事例からの考察～ 424
森井 佳奈（砂川市立病院 緩和ケアチーム）
- P094-2 緩和ケアチームが診断期から介入したケースの振り返り 425
奥 みどり（公益財団法人 東京都保健医療公社 東部地域病院）
- P094-3 早期からの緩和ケアを実現のための全例スクリーニングを目指して 425
神代 正臣（北九州市立医療センター 麻酔科）
- P094-4 緩和ケアチームと病棟の定期的カンファレンスが患者と病棟スタッフに及ぼす影響 425
角田 真由美（東京慈恵会医科大学附属病院 看護部）
- P094-5 当院の緩和ケアチーム活動の現状と課題 425
村松 雅美（浜松医科大学医学部附属病院）
- P094-6 多職種に向けたアンケートの結果から見た緩和ケアチーム主催の学習会のありかた
～明日へとつなぐ学習会を目指して～ 426
松岡 弘子（医療法人徳洲会 和泉市立病院 緩和ケアチーム、同看護部）
- P094-7 緩和ケアチーム活動内容と今後の展望についての一考察 426
吉村 元輝（藤田保健衛生大学病院 看護部）
- P094-8 疼痛コントロール不良群からみた当院緩和ケアチームの現状と課題 426
加藤 久美子（トヨタ記念病院 看護室、トヨタ記念病院 緩和ケアチーム）
- P094-9 病期による楽しみメニュー選択の違いについて 426
倉井 栄典（とちぎメディカルセンター とちの木病院 薬剤部、緩和ケアチーム）
- P094-10 当院における緩和ケアスクリーニングの試行結果と今後の課題 427
高野 いづみ（熊本大学 医学部附属病院 緩和ケアチーム、熊本大学 医学部附属病院 看護部）

**P095
緩和ケアチーム3**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：小宮 幸子（横浜市立大学附属病院 薬剤部）

- P095-1 当院におけるフェンタニル速放性製剤の適正使用への取り組み 427
山本 明紀（堺市立病院機構 市立堺病院 薬剤科、堺市立病院機構 市立堺病院 緩和ケアチーム）
- P095-2 一般市中病院でのオピオイド回診から同定された、癌治療医のオピオイド使用における
問題点の検討 427
中村 友哉（大和高田市立病院 外科）
- P095-3 緩和ケア病棟における「ゆたか食」の導入 427
宮原 佳菜（株式会社麻生 飯塚病院 栄養部）
- P095-4 コンサルテーション型緩和ケアチームの疼痛治療成績の推移（第6報） 428
葛谷 真理（名古屋第二赤十字病院 緩和ケアチーム、薬剤部）
- P095-5 病棟看護師による緩和ケアチーム活動の評価 428
小田原 めぐみ（JA尾道総合病院 緩和ケアチーム）
- P095-6 当院医療職者のがん患者とのかかわりにおける困難感と対応方法からみた緩和ケアチームの
課題 428
荒井 奈保子（社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院）

P095-7	緩和ケアチームが効果的に機能する要因	428
	菅野 綾子（岩手医科大学附属病院 緩和ケアチーム）	
P095-8	演題取り下げ	
P095-9	当院緩和ケアチームの現状	429
	小林 美貴（福井大学 医学部 附属病院 緩和ケアチーム）	
P095-10	当院緩和ケアチーム発足前後におけるオピオイド製剤の処方動向と注射投与経路の調査	429
	高橋 忍（医療法人 湘和会 湘南記念病院 緩和ケアチーム、同 薬局）	

P096

緩和ケアチーム4

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：加登 大介（虎の門病院 緩和医療科）

P096-1	一般病院緩和ケアチームが行うデスカンファレンスの課題	429
	相川 りえ（社会医療法人社団 高野会 高野病院 看護部）	
P096-2	急性期病院における緩和ケアチームコンサルテーションの状況と今後の課題	430
	井上 智恵（地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 緩和ケアチーム 看護部）	
P096-3	緩和医療チーム介入に対する評価報告～症例毎アンケートの分析を通して～	430
	廣田 亜紀（昭和大学横浜市北部病院）	
P096-4	A病棟の緩和ケアチーム活動の実践力の評価と課題 ～緩和ケア診療加算開始後の緩和ケアチームの実践・相談内容の動向の分析～	430
	林 あり子（藤沢湘南台病院）	
P096-5	緩和ケアチームにおけるがん病態栄養専門管理栄養士参加の効果について	430
	齋藤 実希（青梅市立総合病院 栄養科、青梅市立総合病院 緩和ケアチーム）	
P096-6	緩和ケアチーム対象者の経口摂取がQOLに及ぼす影響	431
	西田 尚美（京都鞍馬口医療センター 緩和ケアチーム、京都鞍馬口医療センター 栄養管理室）	
P096-7	電子カルテ内に設置した緩和ケアチームの情報ページに関する考察と今後の課題 ～一般病院における緩和ケアの情報整備とスキル向上を目指して～	431
	齊藤 麻衣（医療法人社団蘇生会総合病院 緩和ケアチーム）	
P096-8	院内緩和ケアチームのサービス向上をめざして	431
	細瀧 喜代志（公立玉名中央病院 症状緩和ケア委員会）	
P096-9	がん患者指導管理科2 加算への当院での取り組みによる面談への効果	431
	高井 みゆき（独立行政法人国立病院機構函館病院 緩和ケアチーム 看護部）	
P096-10	急性期病院の緩和ケアチームに関する意識の実態－STAS-J導入前の評価－	432
	若木 千恵（公立能登総合病院 緩和ケアチーム）	

P097

緩和ケアチーム5

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：山根 弘路（川崎医科大学 総合内科学4）

P097-1	緩和ケアの専門医でないチームリーダーが緩和ケアチームを活性化させるための試み	432
	米谷 卓郎（独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター 緩和ケアチーム、 独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター 呼吸器外科）	
P097-2	がんサポートチーム（CST）における5年間の栄養士の活動	432
	大山 博子（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 栄養部）	



P097-3	当院における緩和ケアチーム活動の現状と今後の課題 ～KJ法を用いて分析、検討する～	432
	竹崎 薫（一般社団法人 八代郡医師会 八代郡医師会立病院 緩和ケアチーム）	
P097-4	フェンタニル速放製剤の適正使用における運用と問題点について	433
	武嶋 常（厚木市立病院 薬剤管理指導室、緩和ケアチーム）	
P097-5	当院での緩和ケアチーム活動～新病院での緩和ケアチーム・緩和ケア病棟へ向けて～	433
	渡邊 哲也（知多市民病院 外科）	
P097-6	STAS-Jを用いた、当院緩和ケアチーム活動の検討	433
	平川 麻美（聖マリアンナ医科大学病院 腫瘍センター 緩和医療部会、 聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座）	
P097-7	E-FIELDのスライドを用いた勉強会について	433
	岡山 幸子（宝塚市立病院 緩和ケアチーム）	
P097-8	がん性疼痛緩和指導管理料算定における緩和ケアチーム（PCT）介入による効果	434
	石井 将光（川崎市立多摩病院 消化器・一般外科）	
P097-9	消化器癌症例に対する緩和ケアチーム介入の現状	434
	杉山 保幸（岐阜市民病院 緩和ケアセンター）	
P097-10	緩和ケアチームの介入による、看取り期の全身管理の変化	434
	栗原 二葉（山形大学医学部付属病院麻酔科）	

P098 緩和ケアチーム6

6月20日（土）14:30-15:30
ポスター会場

座長：磯野 永依（神奈川県警友会 けいゆう病院）

P098-1	がん患者に対するスクリーニングシート取組みの報告 ～急性期病院におけるシート導入期の現状と課題～	434
	雨宮 裕美子（東京都立多摩総合医療センター 緩和ケアチーム）	
P098-2	急性期病院における緩和ケアチーム活動の現状	435
	原田 英一（社会医療法人春回会 井上病院 緩和ケアチーム）	
P098-3	緩和ケアチームラウンドの評価と課題	435
	首藤 麻里（社会医療法人 製鉄記念八幡病院）	
P098-4	福井大学医学部附属病院緩和ケアチームにおける精神腫瘍医専従による予後への影響	435
	西本 武史（北見赤十字病院 緩和ケア内科、福井大学医学部附属病院 緩和ケアチーム）	
P098-5	緩和ケアチーム活動の評価と今後の課題～アンケート調査結果からの分析～	435
	北條 理恵（紀南病院 緩和ケアチーム）	
P098-6	専従医師がいなくてもかわらず活動性が高いがん診療連携拠点病院の緩和ケアチームが 直面している問題点は？：質的研究	436
	坂下 明大（兵庫県立古川医療センター 緩和ケア内科）	
P098-7	入院後早期死亡患者における終末期治療介入の実態	436
	平本 秀二（三菱京都病院腫瘍内科緩和ケア内科）	
P098-8	大学病院 緩和ケアチーム診療の現状 介入形式に関する検討	436
	中村 陽一（東邦大学医療センター大橋病院 緩和ケアチーム、 大学病院の緩和ケアを考える会 教育部会）	
P098-9	緩和ケアチームと医療安全管理室によるせん妄チームの効果	436
	細見 裕久子（国立病院機構 神戸医療センター 緩和ケアチーム）	

P099
緩和ケアチーム7

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：天野 晃滋（大阪市立総合医療センター 緩和医療科）

- P099-1 緩和ケアチーム活動開始以降のオピオイド使用量調査
～ Defined Daily Dose(DDD)との比較～** 437
高橋 理智（TMG 田園調布中央病院 緩和ケアチーム、薬剤科）
- P099-2 がん治療困難期から終末期緩和ケアへの移行支援における緩和ケアチームの課題** 437
成松 恵（兵庫県立加古川医療センター 緩和ケアチーム）
- P099-3 緩和ケアチームと外科病棟のカンファレンスが導いた効果
～緩和ケア病棟入院の待機期間短縮～** 437
中井 尚美（富山市立 富山市民病院 緩和ケア科）
- P099-4 緩和ケアの質的評価－経口麻薬導入時の副作用予防薬処方率とNSAIDs及び
アセトアミノフェン併用率の変化を通じて－** 437
野村 香織（藤田保健衛生大学病院 臨床薬剤科）
- P099-5 当院におけるフェンタニル舌下錠の使用経験と緩和ケアチームによるサポート** 438
原武 麻里（高槻赤十字病院 看護部）
- P099-6 PCT看護師と外来看護師による「外来緩和ケアカンファレンス」の効果と課題** 438
高橋 玲子（社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院）
- P099-7 医療者のオピオイドカルテ診に対する思い－質的データ分析手法を用いて－** 438
村山 圭介（国立病院機構 旭川医療センター 緩和ケアチーム）
- P099-8 一地域がん診療拠点病院である当院での終末期医療過去2年の変遷と
当院緩和ケアチームにおける在宅診療との比較検討** 438
木下 敏史（独立行政法人 労働者健康福祉機構 香川労災病院 緩和ケア科）
- P099-9 緩和ケアチームが関与した歯科口腔外科の悪性腫瘍患者の現状** 439
生駒 美穂（新潟大学大学院 歯医学総合研究科 腫瘍内科学分野 緩和医療学、
新潟大学歯医学総合病院 緩和ケアチーム）

P0100
緩和ケア外来1

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：馬場 玲子（筑波大学附属病院）

- P0100-1 「どっちも大事」～緩和ケア科を受診してから1週間以内に亡くなった症例の検討～** 439
齋藤 義之（新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア科）
- P0100-2 紹介患者中心型緩和ケア病院における「早期からの緩和医療」実施の困難性、
特に、キャンセル症例を中心に** 439
都築 則正（藤田保健衛生大学 外科・緩和医療学講座）
- P0100-3 当院の緩和ケア外来活動と今後の課題** 439
高阪 道子（東京勤労者医療会 東葛病院 緩和ケアチーム）
- P0100-4 シームレスなケアを目指した緩和ケア外来の活動** 440
黒木 嘉人（国民健康保険 飛騨市民病院 緩和ケア外来）
- P0100-5 緩和ケア外来が果たしている役割** 440
山村 二三江（独立行政法人国立病院機構 函館病院 緩和ケアチーム 看護部）
- P0100-6 当院における緩和ケア外来の現状と今後の課題** 440
海津 未希子（東京大学医学部附属病院 看護部）

PO100-7	当院緩和ケア外来新規依頼患者への対応の現状・特性	440
	齋藤 幸枝（公立大学法人 横浜市立大学附属病院 緩和ケアチーム）	
PO100-8	地域中核病院における外来緩和ケアの取り組みと問題点	441
	伊地知 盛夫（公立八女総合病院）	
PO100-9	あそかビハラー病院における緩和ケア外来の現状と課題	441
	加藤 桂子（あそかビハラー病院 看護部）	
PO100-10	乳がん患者への緩和ケア外来の役割の検討	441
	田上 正（東京医科大学 緩和医療部、東京医科大学 麻酔科学分野）	
PO100-11	大学病院の外来で診療・ケア行う医師・看護師は、緩和ケア外来・がん相談室を利用しているのか？	441
	久保 百合奈（神戸大学医学部附属病院 看護部）	

PO101

緩和ケア外来2、早期からの緩和ケア1

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：山岡 憲夫（医療法人カーサミア やまおか在宅クリニック）

PO101-1	主治医不在時の時間内・外受診への取り組み ～救急外来 365日24時間 寄り添うために～	442
	宇都 健一郎（上尾中央医科グループ 医療法人協友会 吉川中央総合病院）	
PO101-2	当院の緩和外来の紹介	442
	田中 俊行（高崎総合医療センター）	
PO101-3	緩和ケア外来への遅い紹介が進行がん患者にもたらす影響についての検討	442
	奥村 佳美（小牧市民病院 緩和ケアチーム）	
PO101-4	緩和ケア外来の役割を評価する客観的指標の考案（第3報） 一地域連携による療養場所・看取りの場介入一	442
	李 美於（神戸市立医療センター 中央市民病院 緩和ケア内科）	
PO101-5	早期からの緩和ケアにおける家族への働きかけの重要性が示唆された終末期症例の報告： 症例1 患者の希望と相反する家族の希望：症例2 医学的適応と相反する家族の希望	443
	安部 英治（熊本地域医療センター 麻酔科）	
PO101-6	進行乳がん患者に対するモーズ軟膏を使用した際の治療行動の変化 ～治療に向かうための緩和ケア～	443
	金刺 彩子（札幌徳洲会病院 緩和ケアチーム 看護師）	
PO101-7	～がんと診断された時からの緩和ケア～症例から考える	443
	熊倉 康友（山梨大学 医学部 麻酔科学講座、山梨大学医学部附属病院 医療チームセンター）	
PO101-8	がん化学療法看護認定看護師が化学療法開始からホスピス転院までを継続的に支援した 乳がん患者の1例	443
	田村 美子（第二岡本総合病院 看護部）	
PO101-9	入院時緩和ケアスクリーニングの導入と運用に関する探索的検討	444
	藤松 義人（鳥取県立中央病院 がん相談支援センター）	
PO101-10	がん病棟における苦痛スクリーニングの評価と課題	444
	橋本 寿子（元広島市立広島市民病院）	
PO101-11	がん病棟における苦痛スクリーニングの実際と課題	444
	橋本 寿子（元広島市立広島市民病院）	

**PO102
早期からの緩和ケア2**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：堀 夏樹（NTT東日本関東病院）

- PO102-1 全入院がん患者を対象にした痛みのスクリーニングと緩和ケアチームによるフィードバックの効果についての検討** 444
山下 慈（青森県立中央病院 緩和ケアチーム）
- PO102-2 苦痛のスクリーニングに基づいた緩和ケアラウンドの効果と課題** 445
酒井 智子（高松赤十字病院 看護部）
- PO102-3 大病院外来化学療法室での初回治療患者の苦痛・ニーズの現状と今後の課題** 445
穂山 真理（日本医科大学付属病院 看護部 化学療法科）
- PO102-4 がん患者の苦痛のスクリーニング運用開始後の評価** 445
牧内 美和（独立行政法人 国立病院機構 信州上田医療センター）
- PO102-5 化学療法センター看護師からみた緩和ケアの現状と今後の課題** 445
竹田 美和子（公立置賜総合病院 化学療法センター、公立置賜総合病院 緩和ケアチーム）
- PO102-6 「生活のしやすさに関する質問票」を用いた苦痛スクリーニング～一般急性期病院での実施経験～** 446
吉川 陽子（浜松医療センター）
- PO102-7 乳がん患者への乳腺科と緩和ケア科の早期からの協働による緩和ケア提供の実態** 446
西 里佳（社会医療法人 博愛会 相良病院 看護部）
- PO102-8 早期からの緩和ケアを実践するためのスクリーニングシート導入の効果** 446
黒川 勝（石川県立中央病院 緩和ケア内科）
- PO102-9 初診がん患者に対する苦痛のスクリーニング～システム確立までのプロセス～** 446
伊藤 由美子（兵庫県立がんセンター 緩和ケアセンター、兵庫県立がんセンター 看護部）
- PO102-10 がん患者の苦痛のスクリーニングの有用性と課題** 447
棚田 大輔（兵庫医科大学 麻酔科学・疼痛制御科学、兵庫医科大学病院 緩和ケアチーム）
- PO102-11 けいゆう病院における苦痛のスクリーニングの現状と課題** 447
早川 直子（一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 緩和ケアチーム）

**PO103
早期からの緩和ケア3**

6月20日(土)14:30-15:30
ポスター会場

座長：山崎 圭一（ベルランド総合病院 乳腺センター 緩和ケア科）

- PO103-1 緩和ケアスクリーニングシートを用いた早期からの支援提供システムの構築** 447
宗定 水奈子（がん・感染症センター 都立駒込病院 緩和ケアセンター）
- PO103-2 がん患者苦痛のスクリーニングの取り組みにおける当院の現状と課題** 447
二瓶 恭子（大崎市民病院 地域がん診療連携拠点病院運営委員会 緩和ケア検討部会）
- PO103-3 全がん患者を対象とした苦痛のスクリーニング施行** 448
陸山 郁子（兵庫県立柏原病院 緩和ケアチーム、兵庫県立柏原病院 看護部）
- PO103-4 がんがわかったときからはじまる緩和ケアの実践
—リーフレット「がんがわかったときから始まる支援」と「心配ごと質問票」の活用—** 448
徳竹 京子（JA長野厚生連 北信総合病院）
- PO103-5 地域急性期病院におけるがん患者スクリーニングの実態と課題** 448
菊地 浩子（みやぎ県南中核病院 看護部）

PO103-6	当院での「苦痛へのスクリーニング」への取り組み ～入院時緩和ケアスクリーニング報告～	448
	手渡 和子（独立行政法人 国立病院機構 千葉医療センター 緩和ケアチーム）	
PO103-7	緩和ケアスクリーニング導入の報告	449
	村上 祥子（地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 看護部）	
PO103-8	症状スクリーニングシートを用いた外来化学療法をうける患者の苦痛に対する 緩和ケア提供体制の検討	449
	西谷 葉子（京都第二赤十字病院 緩和ケアチーム）	
PO103-9	症状スクリーニング拡大に向けての患者の選定に関する課題	449
	浅野 耕太（京都第二赤十字病院）	
PO103-10	患者自記式STAS-J症状版を用いた、苦痛のスクリーニングの導入	449
	平野 知子（日本医科大学 千葉北総病院 緩和ケアチーム）	
PO103-11	がんと診断された患者への緩和ケアの認知度の向上と入院前からの多職種連携への 取り組み	450
	六角 由紀（愛媛大学 医学部 附属病院）	

PO104 早期からの緩和ケア4

6月20日（土）14:30-15:30
ポスター会場

座長：塚原 悦子（おおさか往診クリニック）

PO104-1	癌治療患者を対象とした外来でのスクリーニング調査	450
	鹿田 康紀（済生会福岡総合病院 呼吸器外科、緩和ケアチーム）	
PO104-2	がんと診断された時からの緩和ケアの提供を目指して ～質問紙を用いた苦痛のスクリーニングの評価と課題～	450
	菊地 美香（独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター）	
PO104-3	院内の全がん患者を対象としたスクリーニングの開始	450
	高浪 英樹（製鉄記念八幡病院 緩和ケア外科、製鉄記念八幡病院 緩和ケアチーム）	
PO104-4	緩和ケア外来を受診した婦人科がん患者の転帰に関する検討	451
	宮内 安澄（慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室）	
PO104-5	緩和ケア外来における化学療法患者の個人のQOL-SEIQoL-DWを用いて	451
	坂下 美彦（千葉県がんセンター 緩和医療科）	
PO104-6	鹿児島県版『生活のしやすさに関する質問票』を用いた外来化学療法を受ける患者の 苦痛のスクリーニング結果と今後の課題	451
	岩坪 笑（鹿児島大学病院）	
PO104-7	がん患者継続ケアにおける外来・化学療法室看護師の現状と課題	451
	佐藤 友香（公立岩瀬病院 緩和ケアチーム、看護部）	
PO104-8	早期大腸がんを告知された患者のスピリチュアルな状態	452
	門田 典子（京都府立医科大学保健看護学研究科）	
PO104-9	専門的緩和ケアサービスが進行肺がん患者との面接に要した時間 ～化学療法を受ける肺がん患者に対する早期からの包括的緩和ケア介入プログラムの実施可能性試験から～	452
	田中 優子（国立がん研究センター東病院 看護部）	
PO104-10	化学療法を受ける進行肺がん患者が抱える問題 ～化学療法を受ける肺がん患者に対する早期からの包括的緩和ケア介入プログラムに関する実施可能性試験から～	452
	小林 直子（国立がん研究センター東病院 看護部）	

P0104-11	がん患者を対象とした痛みのスクリーニング分析報告	452
	井上 啓爾（長崎みなとメディカルセンター 市民病院 緩和ケア科）	

P0105

制度設計・政策・費用対効果、その他のチーム医療・緩和ケアデリバリー

6月20日（土）14:30-15:30

ポスター会場

座長：齋藤 信也（岡山大学 大学院保健学研究科）

P0105-1	緩和ケア病床と緩和ケアチームの比較：第2報	453
	栗原 二葉（山形大学医学部付属病院麻酔科）	
P0105-2	千葉緩和医療学会 法人化への歩み	453
	野本 靖史（我孫子聖仁会病院 緩和ケア内科）	
P0105-3	当院における医療用麻薬の使用量の変化と廃棄の現状について	453
	大嶺 彩（独立行政法人国立病院機構沖縄病院）	
P0105-4	ホスピス緩和医療に対する韓国国民の認識とその示唆点	453
	株本 千鶴（椋山女学園大学 人間関係学部 人間関係学科）	
P0105-5	緩和ケア施策の達成度を評価するための指標の開発に関する研究	454
	中澤 葉宇子（国立がん研究センター がん対策情報センター）	
P0105-6	処置時の鎮痛について緩和ケアチーム直接介入からプライマリーチーム単独で管理できるように工夫し移行できた症例	454
	増澤 宗洋（関西医科大学麻酔科学講座）	
P0105-7	緩和ケアチームの取り組みをPDCAサイクルにより推進する ～第5回兵庫県緩和ケアチーム研修会の開催報告～	454
	池垣 淳一（兵庫県立がんセンター 緩和ケアチーム）	
P0105-8	がん患者の望ましい死・死亡場所の希望と実際：コホート研究による検討	454
	宮下 光令（東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）	
P0105-9	骨転移患者に対する骨転移カンサーボード早期介入の意義	455
	篠田 裕介（東京大学医学部リハビリテーション科、東京大学医学部整形外科）	
P0105-10	タブレット端末を用いた緩和ケア情報システムの構築	455
	大熊 加恵（東京大学 医学部附属病院 放射線科）	
P0105-11	地域中核病院における非がん疾患患者のエンドオブライフケア推進に向けたケア連携 ー非がんサポートチーム看護師と病棟看護師の実践から	455
	谷本 真理子（東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科）	